

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会議員 門脇 輝明



平成30年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	平成30年 8月22日(水)～24日(金)	
2	研 修 地	滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号	
3	研 修 内 容	(内 容)	
		(1) 地方財政制度の基本	(場 所) 全国市町村国際 文化研修所
		(2) 自治体財政診断の考え方と手法	
		(3) 地方財政のよくある質問	
		(4) 財政健全化における川西市の取り組み	
4	研 修 結 果 又 是 概 要 (意 見 ・ 感 想)	<p>(1) わが国の地方自治制度は、国と地方自治体が手を携えて、住民住民の生活を支えるという統治形態を取っていることが基本となって、地方財政制度が設計されているという切り口から、この研修全体構成されていた。</p> <p>本町の財政状況について、さまざまな指標が出されているが、国の政策によって変動する面もあり、数値の良し悪しが、住民の暮らしやすさに直結するものではなく、数値がよければ政策選択の幅が広がり、悪ければその幅が狭くなることが理解できた。</p>	
		<p>(2) 財政状況は貯金と借金のバランスで決まることから、貯金の状況を示す基金額比率と借金の状況を示す将来負担額比率の指標を用いて、町の財政状況の推移を検証する演習をした。</p> <p>この手法を用いて、大型事業を実施した場合の将来の財政状況を推測することが可能であり、事業実施の目安として財政当局にも活用していただきたい。</p>	
		<p>(3) 臨時財政対策債の償還については、100%基準財政縦横額に入っているため心配する必要はないこと。公会計の活用については、導入の最大のメリットが正しい固定資産台帳に基づく、公共施設の総合管理が可能となること。経常収支比率80%については、昭和時代の目安であり、現在は90%程度であっても赤字を出す可能性がなければ問題視する必要がないこと。等々の講義があった。</p>	
		<p>(4) 川西市の財政健全化の取り組みについて講義があり、その中で手法として話題となったPFIについて、設計施工と管理運営の2つの段階でモニタリングが重要であり、それぞれの担当部署の連携と、特に担当者の能力が大切となってくることから、PFIにより事業を行う場合は、リスクを抑え事業価値の最大化を目指すためには、事前に十分な検討が必要だとのことであった。</p>	

	調査結果 又は概要 (意見・ 感想)	(5) まとめ 今回、財政制度についてはじめて学ぶ研修となった。用語など初めて聞く事柄も多く、十分に理解できたとはいえない。講師の小西先生も、町の財政担当の職員として一人前といえるには5年、10年とかかるといわれており、今後もじっくりと学んで行きたい。
--	-----------------------------	---